

# 道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～ 南郷中学校

令和元年11月26日(地域版第9号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 土曜参観マラソン大会を無事開催することができました。 ◆◆



前日までの大雨でしたが、26日は朝からの快晴で、マラソン大会を含めて、全てのスケジュールを無事開催することができました。まずは授業の様子を紹介します。南郷中学校は21日の月曜日に「葉山町教育委員会学校訪問」という授業視察・助言を指導主事や教育指導員から受けた直後の授業公開となりました。本日公開された授業は、その成果も踏まえたものとなっているはずですが、左の写真は山川教諭の3年生社会の様子です。「憲法104条を考えよう」というタイトルの下、例えば首相の動向記事を使って、「プライバシー保護と知る権利」という相反する人権を考えさせるなど、まさに思考力・判断力を高めるような授業をされていました。皆様にも授業改善の成果を感じて頂ければ幸いです。

## 2019年度 マラソン大会 20傑表

土曜参観来校者数

	A	B	C	合計
1年	17	10	10	37
2年	15	12		27
3年	14	17	11	42
				106

★大会記録★ 2013年度 3A 11'20" ★大会記録★ 2018年度 3C 9'40"

女子の部	クラス	名前	タイム	男子の部	クラス	名前	タイム
1位	2 B		12:08	1位	2 A		10:20
2位	2 A		12:09	2位	2 A		10:26
3位	2 A		12:51	3位	2 B		10:37
4位	3 C		12:56	4位	2 B		10:44
5位	3 A		13:02	5位	2 A		11:09
6位	3 B		13:16	6位	2 A		11:19
7位	3 B		13:26	7位	1 A		11:29
8位	1 A		13:29	8位	3 B		11:31
9位	1 B		13:29	9位	1 A		11:33
10位	2 A		13:34	10位	3 B		11:34
11位	1 B		13:36	11位	3 B		11:39
12位	1 B		13:42	12位	1 A		11:40
13位	1 A		13:45	13位	3 C		11:40
14位	3 C		13:51	14位	1 B		11:45
15位	2 A		13:52	15位	1 A		11:47
16位	2 A		13:55	16位	1 C		11:49
17位	1 C		13:59	17位	2 B		11:52
18位	3 C		14:00	18位	2 B		11:56
19位	3 A		14:01	19位	1 B		11:57
20位	1 A		14:01	20位	1 B		12:01

またその日行われたマラソン大会の20傑の一覧を紹介します。体育の授業での記録を、大会当日の記録が女子で20秒、男子で18秒それぞれ良くなっています。沢山の保護者や応援してくれる生徒の声援がランナーを後押ししてくれたことがよく分かります。



◆◆ 生徒会役員の委嘱をしました。 ◆◆

11月12日(火)の全校集会で、生徒会役員と、生徒会専門委員会委員長さんの委嘱式を実施しました。

生徒会長 2年B組

生徒会長になりました。選挙時にも少しお話をさせていただきましたが、「全校でつくる南郷中」を目指して、これから1年間頑張っていきたいと思えます。この南郷中は、主体として動かしているのは、先生方でもなく、私たち総務だけでもなく、ここにいる南郷中生です。私たちはこれから主体が、南郷中生全員となるような活動に、いろいろな形で取り組んでいきます。ですが、これを実行にうつすには、皆さんの力が必要です。ですので、これから始まっていく活動に協力していただくと嬉しいですね。まずこの活動のはじめとして、「小学生訪問」があります。これは2年生の部長さん、委員長さんを中心として協力が不可欠です。小学生には、この南郷中の素晴らしさを知ってもらい、楽しんでもらうということを第一に、本番まで取り組んでいけたらと思っています。ご協力よろしくお願いします。そして1年間よろしくお願いします。

◆◆ 吹奏楽部の定期演奏会「All in one 2019」 実に見事な演奏会でした。 ◆◆

金賞受賞したことが、ここまでのレベルアップにつながることは、驚くばかりです。リズム感、音色、厚み、表現力など全てにわたって向上しています。一体どんな機会にここまでの練習を積み上げてきたのでしょうか。吹奏楽部の努力に目頭が熱くなるばかりです。保護者の方々が一様に目を腫らして感動されていたのは、当然だなあと感じました。



◆◆ 11月8日 南郷中学校学校評議員会兼学校関係者評価委員会が開かれました。 ◆◆  
本校の学校評価は、大きく4つの柱を分析し、改善案を検討しています。

#### 重点目標1 (柱1) 「新しい時代に必要な資質・能力を育む学校」

授業の項目において、全般的に向上したのは教職員の回答であったが、生徒・保護者は降下した項目が多く、両者に乖離があった。生徒の項目を分析すると、生徒自身が自らの努力不足を認識している面が感じられる。保護者においては、学習に関する評価が一様に伸び悩んでいる。校内研究はいち早く新学習指導要領の導入に向けて舵を切ったが、まだ十分なものに至っていないことが分かる。保護者の信頼を勝ち得ていく必要がある。

##### 【学校関係者評価 (各委員の主たる発言内容)】

・教職員のデータが下がっているのは、一人ひとりが、「主体的対話的で深い学び」とは何なのだろうと考えている証拠に見える。現実的に授業が変わってきた中で、葛藤を含めた重要な過程を踏んでいると分析できるのではないかと思う。生徒も授業スタイルが変わってきて、お互い探り合いの状態のようだがそれでいい。時間はかかるが、時間をかけた結果が良くなればいいと思う。→始まったばかりとすれば、いい方向を向いているのではないかと思う。保護者も「主体的対話的で深い学び」がどういったものかが、まだつかめないのではないかと思う。→昔の授業は、「主体的な深い学び」を目指していたと思うが、今は「対話的」という要素が重要視されている。新しい指導要領(時代)に切り替わった重要な転換期を迎えている。

#### 重点目標2 (柱2) 「豊かな心を育み、信頼でつながった学校」

教職員については、5月期の結果より取り組みが向上し始めたことはうかがえる。しかし、最低ポイント項目があるので、今後も粘り強く取り組む必要がある。生徒においては、学校教育目標への到達度が後退しないよう、指導する教員側が、「自立」「共生」をもっと意識して、教育活動を進める必要性を感じた。保護者には、「信頼で繋がった学校」となれるよう、信頼回復に努めていく必要がある。自由意見文等を見ても、激しい学校非難がある状況ではないが、なんとなく満足できないことがうかがわれる。信頼の向上に努めていきたい。

##### 【学校関係者評価 (各委員の主たる発言内容)】

・小学校から中学校に切り替わることで数値が一旦下がるのは仕方ない。これが学年進行と共に上がるかに注視したい。→昨年度ハートのポケットの方の具体的なアピールの機会があったが、今年度継続しているのかが見えてこない。→本年度もクラスに出かけていって顔が分かるような工夫を継続しています。(校長)→学校には来るがクラスには入れないケースが結構ある。保健室やハートのポケットで過ごしてもらう機会が今年度は多い。(校長)→学校になじめないで「やしの実教室」に活路を見いだす生徒も結構います。昔は根性で乗り越えるなんていっていましたが…(教頭)→根性で乗り越える時代ではない。頑張れというのも難しい。→集団で学ぶメリットは大きいけれど…→他者とのコミュニケーションが苦痛の生徒もいる。今「やしの実」等に通っていれば将来は回復する率が高いと聞いている。(教頭)→今中3は仲がいいが、小学生の時に個性を認め合うことを認識させて下さった先生がいて、育ったのが大きいと思う。→長柄小も男女仲がいい。支援級の子も普通級で過ごせる雰囲気がある。→授業の途中で立ってしまう生徒も認め合っている。

#### 重点目標3 (柱3) 「地域を愛し、地域から愛される学校」

教職員の数値が大きく向上した項目が多い。この傾向が保護者において具体的な数値の向上にはまだ至っていない点は課題である。現在まで行ってきた学校経営努力をこの分野では引き続き押し進めていくことが更なる向上に結びつくと考え。教育懇話会や、避難所運営委員会との連携は昨年度より進んでいるが、コミュニティスクール化を目指し、粛々と準備を進めていく必要を感じている。

##### 【学校関係者評価 (各委員の主たる発言内容)】

・教員の数値はものすごく上がりましたね。→新しく来た教員は、学校がどう地域に接しているか5月時点では見えなかった物が見えてきて意識が変わり、数値が向上したのではないかと私自身実感している。(教頭)→昔森戸川流域で行っていた葉山の文化祭のような下地が、この地域に潜在的にあることも大きいと思う。→南郷中文化祭や可能性が地域にもあり、我々が住んでいる地域の文化を取り入れるのが教員の力。→この地域の方々は学校に非常に協力的。長柄小でも一人一役で協力をしていただいている。→田んぼ経験がある葉山の豊かさは特別。地域の協力があることが素晴らしい。→経営努力を引き続き継続していくことで、良いと考える。

#### 重点目標4 (柱4) 「いじめ防止に向けた対策」

生徒からの回答は、2項目について改善が見られる。実際、昨年自由記述において、相談のしやすさやいじめに関する声を上げた生徒が7名、授業の進め方について声を上げた生徒が18名いたことは見逃せなかった、今年はそのうち1名、3名に減少した。ポイント上昇項目からも分かるように、次第に解消されていることが視える。一方、教職員の意識については、早期発見早期対応において0.1ポイントの降下が見られ、保護者アンケートでも、0,22、0,44ポイントと降下している。また今回、Eを選んだ保護者が、問24 H30 3→R1 9 問25 H30 1→R1 7と急増している点は見逃せない。この理由を正しく把握する必要がある。

##### 【学校関係者評価 (各委員の主たる発言内容)】

・アンケートは無記名での回答ですか?→無記名だったら正直な結果に受け取れる。この数字がMAXという分析もできそうだが。→いじめの訴えがあったとき、学校では必ず学年集会を開くのですか?→ケースバイケースです。緊急性やみんなに訴えて解決した方が良いと判断したときは、学年集会で解決を目指しますし、個々に対応した方が良い場合は個別に対応していきます。子どもに相談しに来たことを言わないで(知らせないで)というケースは大変難しいです。それでも願いは解決してほしいというものですから、かなりの困難を伴います。事実確認が必要なだけに苦慮します。学校に全部任せていただいた方が、実は幸に処しやすいです。(教頭)→保護者の立場でも、絶対に言わないでねと、子どもにいじめを明かされたとき、学校に相談できないで苦しんだり悩んだりします。子どもの信頼を裏切るわけにはいかないので辛いです。→学校に相談できない保護者の方にとって、このアンケートはやる意味がありますね。伝えられないことを、Eを選ぶことで暗に伝えられるわけですから。(校長)→Eは基本的につけづらい。だからこそ無記名でのEメッセージは意味がある。→昨年は、F(いじめはない)が多いことが一番良いと捉えてしまっけれど、Eに人数がいる場合は、いじめはないと回答するFが多いことはむしろ周りが見えていないと捉えるべきとの判断を下した。学校カーストがある場合は、Fは最も恐い要素がある。今回初めて学校カーストへの意見が、南郷に実態があるのか注視している。(校長)